

高校統廃合計画は延期ではなく、地域の高校を守り、
少人数学級を実現するため、計画の撤回を強く求めます

公立高校を守る会 代表 阿江 善春

【要請趣旨】

私たち「公立高校を守る会」は、2025 年度の統廃合計画の見直しを求める署名(13,043 筆)に続き、2025 年 9 月 2 日には、「2028 年度までに計画されている公立高校統廃合計画の見直しを求める署名」を、11,956 筆を貴職に提出したところです。これらの署名には、「高校を守ってほしい」という切実な子どもたち、保護者の声、地域の方や卒業生の思いが詰まっています。

2025 年 8 月 7 日、県教育委員会(以下、県教委)は、「県立高校再編の後期計画の延期」を発表しました。延期の理由は、県教委作成の資料によると、①令和 7 年度発展的統合についての検証②市立高校の統合計画③私学無償化等の社会情勢の変化④国から示される予定の高校教育改革に関する基本方針等です。そして、これらの多くは、「統廃合計画」が発表されて以降、私たちが、県教委に対してその問題点を指摘してきたものです。

令和 7 年度発展的統合の検証についてですが、この高校統廃合計画が子どもたちや保護者の声、そして、地域住民や卒業生の声に耳を傾けることなく、公共施設削減や地域つぶしのための統廃合のごとく一方的に計画が進められたことなどは大きな問題です。

さらに、市立高校の統合計画についても、2026 年度の姫路市立高校の 3 校募集停止(1 校新設)に対して、私たちは他の地域とのバランスを大きく欠いた、姫路市の統廃合について警鐘を鳴らしてきました。そして、子どもたちや保護者の不安を払拭するには、姫路市立高校の統廃合計画も再検討されるべきなのです。

一方、私学無償化等の社会情勢の変化を受けての再検討は、私立高校の「授業料無償化」により、公立離れが進み、都市部におけるさらなる統廃合につながるのではないかが危惧されます。しかし、「高校無償化」をテコに公立高校を削減するというのであれば、それは高校無償化を規定する国際人権規約の趣旨に沿っているとはいえないものです。また、私たちはこの間、公立高校が地域にとっての街づくり、そして人づくりの基盤であることなど、地域にとってかけがえのない公立高校の役割について確認してきました。そして、報道によると、貴職も会見の中で、「公立高校は地域の核を担う大切な学校でもある。」と述べられています。

今回の「県立高校再編の後期計画の延期」が、「教育にとって」「子どもたちにとって」「地域にとって」という教育上の課題によって再検討されるとすれば、それは意義があることだと思います。

そして、子どもたちや保護者などの願いに寄り添い、子どもたちと地域とがともに育ちあうという兵庫の教育の未来を見据えるのであれば、再検討の結論は、「高校統廃合計画の撤回」、そして「高校における少人数学級の実現」、さらには、「県立高等学校教育改革第三次実施計画」そのものの見直し、これをおいて他にはないと強く思うものです。

つきましては、以下の事項を、貴職のご決断で実現していただくことを強く要請いたします。

【要請事項】

高校統廃合計画は延期ではなく、地域の高校を守り、
少人数学級を実現するため計画を撤回してください。

お名前	ご住所

※この署名に記載された個人情報はこの署名目的以外には使用いたしません。

取り扱い団体

オンライン
署名



「公立高校を守る会」 神戸市中央区北長狭通 5-2-10(高教組会館内) 078-341-6745(高教組事務所受け)

「統廃合計画の延期」(県教委発表) を統廃合撤回につなげよう

2025年8月7日、兵庫県教育委員会は、「県立高校再編の後期計画の延期」を発表しました。県教委による統廃合計画は、前期計画と後期計画と合わせ14～15校の全日制県立高校が廃校となるというもので、全125校の11～12%が廃校となります。私たちは、統廃合計画の延期ではなく、撤回を強く求めます。

県教委が統廃合計画を「延期・再検討」とした理由

01

2025年度実施の 統廃合の検証

私たちは、2025年度の統廃合計画見直しを求める署名13,043筆を県教委に提出し、その問題点を指摘してきました。

2025年度の高校統廃合は、統廃合対象校となった理由も説明されず、都市部の周辺部の高校が狙い撃ちのように募集停止となるなど、子どもたちや保護者、地域住民や卒業生の声に耳を傾けることなく、一方的に計画が進めらるなどたくさんの問題がありました。

02

姫路市立高校の 統廃合

私たちは他の地域とのバランスを大きく欠いた姫路市の公立高校の統廃合について警鐘を鳴らしてきました。

計画通りに統廃合が進めば、姫路市内の全日制公立高校のうち、最大で7校もの公立高校が減少します。

これは、神戸市や西宮市などと比べても、大きくバランスを欠くもので、「なぜ姫路だけ？」その説明も全くされていません。

03

私学無償化の 影響

高校無償化をテコに公立高校を削減するというのであれば、それは国際人権規約の趣旨に沿っているとは言い難い、そう思います。

そもそも、公立高校と私立高校とでは持つべき役割が違うのではないのでしょうか。

公立高校は地域にとってのまちづくりや人づくりの基盤であり、地域にとってかけがえのないものです。

※これ以外にも「国から示される予定の高校教育改革に関する基本方針」を理由としています。

新しい署名を
始めました

ぜひご協力
をお願いします!



子どもたちや保護者などの願いに寄り添い、子どもたちと地域とがともに育ちあうという兵庫の教育の未来を見据えるのであれば、再検討の結論は、「高校統廃合計画の撤回」、そして「高校における少人数学級の実現」、これをおいて他にはないと思います。

公立高校を守る会

神戸市中央区北長狭通5-2-10 (高教組会館内) tel.078-341-6745(高教組事務所受け)

ネット署名はこちらから

